01-040-268x-0/01-040-269x-0

取り扱い説明書
サイドパネルセット（各色）　R1200GS

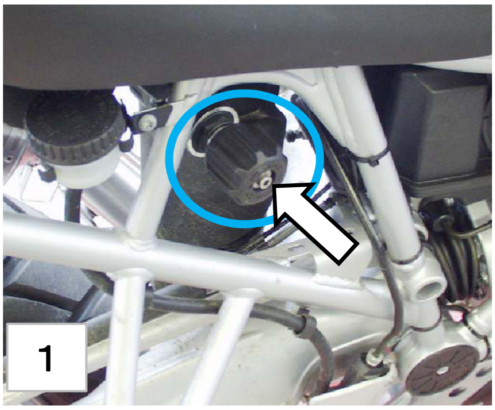
商品内容:
1xサイドパネル本体（左）
1xサイドパネル本体（右）
1x取り付けブラケット（左）
1x取り付けブラケット（右）
2xゴム付きクランプ金具18mm
2xゴム付きクランプ金具14mm
1xプリロードアジャスタ用ノブ
1xプリロードアジャスタ用スペーサー
1xプリロードアジャスタ用スペーサー’06
8xドームヘッドボルトM6x16
1x皿ボルトM5x12
4xセルフロックナットM6
4xセルフロックナットM6
4xワッシャー（大）M6
4xワッシャー（小）M6

重要事項:
BMW純正ローシートとは干渉するため同時装着できません！

ESAモデルは一部手順が省略されます。説明本文をお読み下さい。

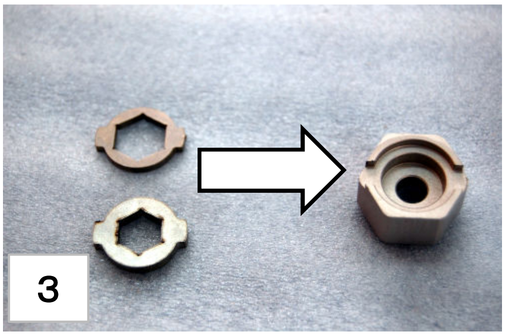
装着後、全ての部品の固定状況を定期的に点検して下さい。

取り付け:
※ESA装着車両は手順（１）（２）は不要です

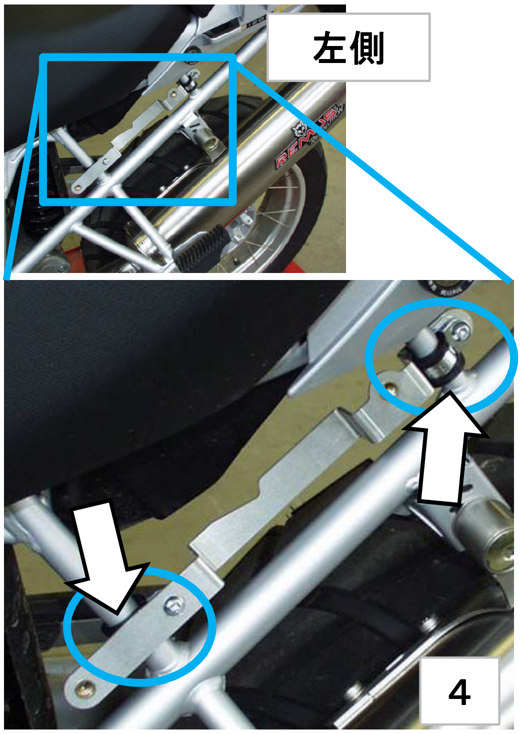


1）リアサスペンションのプリロード調整ノブを取り外します（写真１）。中央のボルトが硬い場合には調整ノブを工具で固定しながら緩めて下さい。

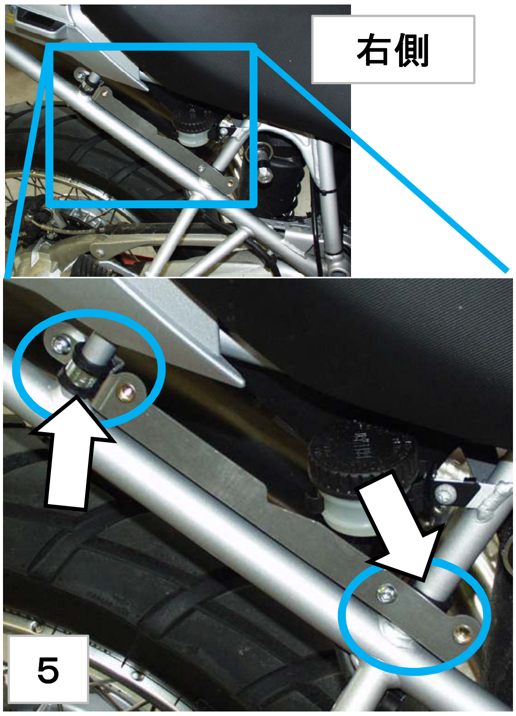
2）商品に付属する新しいアルミニウム製の調整ノブを取り付けます（写真2）。調整ノブの内側にはプリロードアジャスタ側の形状に合わせて商品に付属するスペーサーをかませて下さい（写真３）。そして皿ボルトM5x12で調整ノブを固定します。締めつけトルクは2Nmです。
　リアサスペンションのプリロードを調整する場合には車載工具（年式によっては付属しません）か商品付属の18mmソケットレンチを使用します。



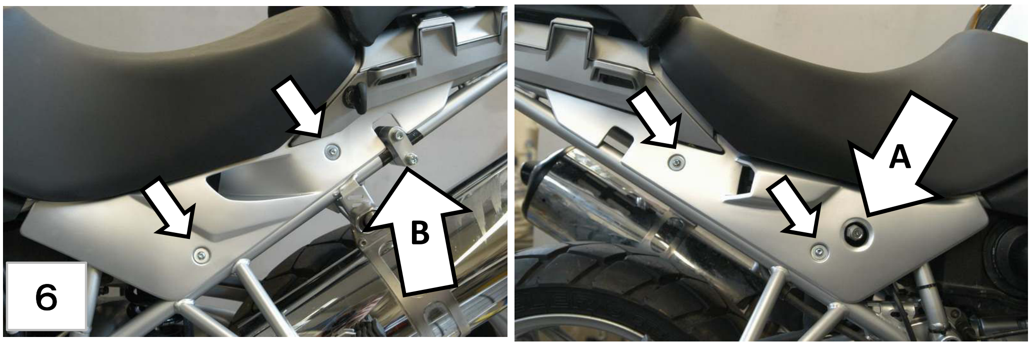
01-040-268x-0/01-040-269x-0



3）後部のサブフレームに18mmと14mmのゴム付きクランプ金具をもちいてブラケットを取り付けます。左右でブラケットの形が異なるので写真4と5を参照にして下さい。クランプ金具をブラケットの固定にはドームヘッドボルトM6x16とワッシャー（小）M6、そしてセルフロックナットM6を使用します。
　ブラケットとサブフレームの接触が懸念される場合には、商品付属のスポンジか市販のプロテクションフィルム等を使用して保護措置を行って下さい。



4）手順3で固定したブラケットにサイドパネルを取り付けます（写真6）。ドームヘッドボルトM6x16とワッシャー（大）M6を使用して4Nmで固定します。

5）もしもプリロード調整ノブ（写真6のA）とサイドパネルの穴の位置がずれているようであれば、ブラケットの取り付け位置をずらして調整して下さい（ESAモデルは不要です）。状況によってはプリロード調整ノブの方を動かして位置を合わせる必要があります。
　またTOURATECH のパニアフレームと合わせて装着する場合、パニアフレームの固定ブロックは空いているスリットの部分へ取り付けます（写真6のB）。

6）装着後、サイドパネルの固定状況を定期的に点検して下さい。